

発行所 近畿税理士政治連盟 発行人 南出力利 編集人 後安宏彦

〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番4号 電話(06)6944-9040 FAX(06)6944-9050 URL <http://kinzeisei.jp/> MAIL info@kinzeisei.jp

「紅葉」万博公園（大阪府吹田市）

撮影：住吉支部 増田和博

焦点

参議院議員通常選挙の電話戦術で会員に電話したところ、ある会員から政治には興味がないとの返事があった。正直すぎるというか、余りにあっけからんとしてさもあり前のような感じであり、政治という言葉聞いた瞬間に関わりたくないという様子であった。

確かに今の政治状況を見ると、悪いところばかりが報道され、嫌気がさし政治に興味なくなるのも理解できる。また、政治家との接点がないため無関心になっているのかもしれない。いずれにせよ、会員の政治に対する意識はかなり薄くなっている。

ところが、税理士会のことを考えると無関心ではいられない。税理士法改正や税制改正など、我々の業界や中小企業にとって重要な

問題が山積している。税理士会は公正な立場でこれらの問題について建議するが、特別法人であるのでこれを実現するための政治活動はできないのである。そのため税政連が代わりに政治活動をするのである。

我々が関わるのは、この部分であり、税理士会の要望実現を目指して政治活動しているのである。決して政治好きの会員が自分の主義主張のために、税政連において政治活動するのではない。この活動の一環として、我々の立場を理解してくれる国会議員等と日頃からの勉強会、選挙応援をするのであるが、税政連が行う要望がスムーズに実現するためにやっている。

我々の業界は、その社会公共的な使命から政治との関わりが必要であることを認識して頂きたいものである。

主張

税理士のための税政連活動

10月6日付スウェーデン王立科学アカデミーはノーベル化学賞（革新手法による有機合成）を日本人根岸英一氏、鈴木章氏、米国人1氏に授与すると発表した。久しぶりの明るいニュースは、目の前に澄みわたる青空に涼風が吹く風情を感じた。その有機合成（クロスカップリング反応）の鍵は触媒であり、直接結合の難しい場合には、それぞれに応じた工夫が凝らされて成り立っている。

同日、政府税制調査会は、平成23年度税制改正に向けた議論をスタートさせた。減税項目の法人税実効税率引き下げ、増税項目として所得税率引き上げ、配偶者控除廃止、給与所得控除の上限設定、相続税課税ベース見直し等が検討課題とされており、その動向を注視したい。

また、昨年12月4日政府の規制改革会議が「規制改革の課題」を公表した。この提言には税理士と公認会計士の業務の相互参入について検討し、必要な措置を講ずべき、との記載があった。これに対し日税連会長・日税政会長は「税理士と公認会計士の業務相互参入に強く反対します」と主張した連名の意見書を平成22年1月8日規制改革担当大臣へ提出した。税理士法第52条（税理士業務の制限）では「税理士又は税理士法人でない者は、この法律に別段の定めがある場合を除くほか、税理士業務を行ってはならない」と断じている。税理士は税の専門家として独立した公正な立場において申告納税制度の理念にそって納税義務の適正な実現を使命として、国家財政を支える税務を担い、これまで努力して第52条の制度を維持してきた。それが規制改革の名のもとに存亡の岐路に差し掛っている。我々は、この税理士制度の根幹にかかわる重要課題を守り抜くため時機に応じ出動しよう。

税政連は昨年、全国単位税政連の後援会組織とともに一丸となって粘り強い運動の末「オーナー課税廃止」という成果を上げた。この件では税政連の日常活動の積み重ねがいざという時に力を発揮し実を結ぶことを立証した。常に税政連は公正な立場から中小企業や国民納税者の要望を国会へ届けるための触媒的な役割を担い、目的達成へ向けた熱意ある運動に取り組んでいる。

これら行動する税政連の活動状況等を速やかに各会員に対し情報提供できるよう、各税理士による国会議員等後援会会員の協力を得ながら広報担当は、現地取材や記事作成に励み、本誌「近畿税政連」を発行すると共に近税政ホームページへのアクセスを期待してその内容充実に努めている。

税政連活動の成果は税理士個人が等しく享受するのであるから会員一人ひとりが積極的に後援会活動に参加され、数は力を実感して頂くと共に、より多くの会員が会費納入をすることにより結束力が一層高まることを切に望んでいる。

(E. O.)

目次

主張	2
支部連ニュース	3
後援会ニュース	7
税制改正の仕組みと税政連の対応	9

連

載

焦点	1
かんさいすずめ	10

支部連ニュース

大阪府第4支部連

大阪府第4支部連合会(東大阪・八尾・富田林)第27回定期大会が、9月8日大阪市天王寺区のホテルアウィーナ大阪で開催された。



雪松弘支部連会長

森本博義副会長の開会宣言があり、雪松弘第4支部連会長より「会費の収納率について、善意に頼って何もしないでいくと、率が落ちていくのが分かりました。税政連の会費こそ、税理士制度の維持、発展に欠かせない、我々自身のための会費です。ノーブレス・オブリージュという言葉があります。それなりの地位にある人は、それに応じた義務がありますという意味です。会費を支払って頂いた先生は、これからも払い続けて頂きたい。次は7月11日に行われた参議院選挙のことです。第4支部連では、自民党の北川イッセイ先生を推薦し、先生方には電話当番をお願いしました。おかげさまで当選をされました。お世話をかけ、誠にありがとうございました」と挨拶があった。

続いて、議長に石津良行副会長が選出され、直ちに議案の審議に入り、第1号議案から第4号議案のすべてについて、満場一致で承認可決された。

続いて、来賓の井戸本泰次近税政幹事長より「特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入制度について税政連の運動により廃止された。公認会計士試験制度が大幅に変わり、大量の合格

者が出てきており、今後税理士登録者が著しく増加することが予想されている。公認会計士制度の見直しの問題と来年度に予定されている税理士法改正についても注視していただきたい」と挨拶があった。

竹綱敏真副会長より閉会の挨拶があり、大会が終了した。その後、懇親会が行われ、和やかな雰囲気のもと閉会した。(政本彰人)

大阪府第5支部連

大阪府第5支部連合会(堺、泉大津、岸和田、泉佐野)定期大会が9月3日ホテルレイクアルスターアルザ泉大津において開催された。



呑海英治支部連会長

来賓として井戸本泰次近税政幹事長が出席した。

議事に先立ち、呑海英治支部連会長が、選挙の結果報告・税政連の活動報告と今後の支部連活動の問題などを述べた。

議長に岸和田支部の蘆原賢一会員が選出された。議事に入り、第1号議案から第4号議案まで、すべて原案通り満場一致で可決承認された。

続いて、井戸本幹事長が南出力利近税政会長のメッセージを代読したほか、平成23年度税制改正の行方、公認会計士制度改正等につき会員先生方においても留意するようとの報告があった。

総会終了後、懇親会が開催され、尾立源幸参議院議員、長安たかし衆議院議員、中山太郎前

衆議院議員、北側一雄前衆議院議員の橋本秘書が出席した。長安たかし衆議院議員より「昨年の衆議院選挙のお礼と国会の報告及び今後のご支援をお願いしたい」と挨拶があった。尾立源幸参議院議員より「参議員選挙のお礼と事業仕分けを始めとする国会報告及び今後のご支援をお願いしたい」と挨拶があった。中山太郎前衆議院議員より「今後とも経済活性化に尽力し皆様方の期待に応えたい」と挨拶があった。橋本秘書より「今後も変わらないご支援をお願いしたい」と挨拶があった。

最後に、竹内芳彦支部連副会長の挨拶があり、盛会のうちに閉会した。(静幸太郎)

京都府支部連

京都府支部連合会第28回定期総会が9月3日、ホテルグランヴィア京都において開催された。



関本孝一支部連会長

来賓として、南出力利近税政会長、伊吹文明衆議院議員、二之湯智参議院議員、西田昌司参議院議員、山田啓二京都府知事(代理太田昇副知事)、門川大作京都市長が出席した。

西村公克副会長が開会を宣した後、関本孝一会長が「本年4月の京都府知事選挙・本年7月の参議院選挙において、推薦した候補者が当選した。今我々にとって最も大きな課題は税理士法改正である。これに関しては国会議員の先生方に大きな力添えを頂かなければならない。よって、税理士による国会議員後援会の拡充を推進していきたい。それと同時に、税政連活動の

更なる強化のために、会費収納率の向上を推進していきたいので、税政連活動を税理士会会員にご理解いただき、収納率向上にご協力いただきたい」と挨拶した。

北村善和前支部連会長が議長に選任され、直ちに議案審議に入り、第1号議案から第5号議案のすべてについて、原案通り満場一致により可決承認された。

引き続き、来賓の南出力利近税政会長より「税理士政治連盟は、平成23年度税制改正にあたり納税者の立場から議論を行い、中小企業者に過重な負担をもたらす改正とならないように強力な運動を行い、国民・納税者の信頼に応え得る税理士制度の確立と税理士の社会的地位の向上を目指している。税政連活動にご協力いただきたい」と挨拶があった。

ほかにも来賓国会議員等が順次挨拶を行い、また、前原誠司衆議院議員・松井孝治参議院議員の祝辞、谷垣禎一衆議院議員・清水鴻一郎前衆議院議員の祝電を披露した後、中野顯一副会長の閉会のことばをもって総会は終了した。

総会終了後、懇親会が開催された。懇親会終了間際に福山哲郎参議院議員が出席、挨拶され、盛会のうちに閉会となった。(榎 和哉)

兵庫県第1支部連

10月5日、神戸市中央区のホテルモントレ神戸にて、兵庫県第1支部連合会(神戸、灘、芦屋、兵庫、長田、須磨)第29回定期大会が開催された。



竹中征二郎支部連会長

来賓として、徳富勲近税政副会長、井戸本泰次近税政幹事長が出席した。

池田進幹事長による開会宣言のあと、竹中征二郎兵庫県第1支部連会長より開会の挨拶があり、運営への協力に対する感謝の意が述べられた。

そして議長に杵田裕顯会員が選出され、議事に入った。池田幹事長より、平成21年度運動経過報告がなされ、税制改正に関する要望事項とその実現について、登録政治資金監査人制度への取り組み、国会議員に対する支援活動、会費収納率向上への取り組みについての報告があり、第1号議案から第4号議案まで、すべて原案通り承認可決された。

議事後、井戸本近税政幹事長より挨拶があり、税制改正、税理士法改正に関する最近の活動状況、登録政治資金監査人の就任・監査実施状況についての報告がなされた。また、徳富近税政副会長より、当支部連においても、新たに税理士による後援会を設立し、税政連活動について、会員の理解を深め、低迷している会費収納率の向上へ繋がるような活動を行って頂きたい、との挨拶があり、定期大会は終了した。

そして、引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに閉会した。(吉田智代)

兵庫県第4支部連

兵庫県第4支部連合会(姫路、竜野、相生)の第29回定期大会が9月1日午前11時より姫路商工会議所で開催された。

来賓に井戸本泰次近税政幹事長が出席した。

司会の石田陽崇幹事長の開会宣言が行われた後、藤岡保支部連会長から、このたび兵庫12区の山口つよし後援会が発足し、9月18日に第1回総会が開催される運びになったとの報告があった。また、当支部連が、会費の収納率の向上により近税政大会で表彰して頂くことについてのお礼を述べた。

続いて、大会議長に田村一美会員が就き、全議案が原案どおり承認可決された。



藤岡保支部連会長

その後、井戸本近税政幹事長から公認会計士制度の見直しが税理士制度に及ぼす影響についての説明があり、また、税理法改正の建議では、民主党政権に代わり法案改正が政治主導になったことによりどのような対応をしていくかというお話があった。

最後に、廣島圭吾支部連副会長の閉会の挨拶で終了した。(後藤加代子)

奈良県支部連

期日 平成22年9月3日(金)午後4時

会場 春日野荘(奈良市)

【来賓】

滝 実 衆議院議員(奈良2区)

高 市 早 苗 衆議院議員(近畿比例)秘書
木下剛志

田野瀬 良太郎 衆議院議員(奈良4区)秘書
太田晃司

奥野 しんすけ 前衆議院議員
自由民主党奈良第三選挙区支部長秘書 木口善行

大 村 恵美子 近畿税理士政治連盟副会長

近畿税理士政治連盟奈良県支部連合会の平成22年度定期大会が開催された。中畠大幹事長の司会で始まり、来賓の紹介に続いて東口哲夫会長の挨拶

◆日頃の税政連活動にご協力に感謝する。税理士も政治力の強化が肝要で、税理士法の改正では政治の力に期待することが多くなる。

続いて議長に上松康員会員を選任し、議事を



東口哲夫支部連会長

原案通り承認可決した。

次に各後援会会長から衆議院議員及び秘書に対し、日本税理士会連合会・日本税理士政治連盟の『平成23年度税制改正に関する要望書』を手渡した。

来賓挨拶 滝議員

◆昨年の衆議院選挙・今年の参議院選挙に対する応援に感謝する。8月30日から、民主党の税制改正プロジェクトチームを発足させ座長代理を務める。きちっとした組織で党としての税制改正の理論をまとめていく。23年度の税制改正に挙げられている法人税・消費税・環境税は大きな問題で、税制に精通された税理士会の皆様の意見を聞きながら議論を進め、政府税調に提言をして行く。今後ともご支援をお願いします。

高市議員秘書 木下剛志氏挨拶

◆平素のご支援に感謝する。様々なご意見を頂戴しているが、特に中小企業が悲鳴を上げる実態を聞いている。そのための措置を積極的に税制に反映させていく。

田野瀬議員秘書 太田晃司氏挨拶

◆メッセージ代読 ⇒ 平素のご支援に感謝する。23年の税制改正は納税者にとって不利益が最小限に抑えられる改正にするべきである。中小企業を活性化する税制と公平な税理士制度の確立をめざし頑張る。

奥野議員秘書 木口善行氏挨拶

◆昨年の選挙結果をお詫びする。捲土重来を期して頑張っていく。地方から景気回復する税制が必要と考える。

大村近税政副会長が南出力利会長挨拶を代読
◆平素からの積極的な税政連活動に感謝する。
税政連は税理士党としての立場で国会議員に活動をして行く。税制改正で税政連の重点要望が実現した。これからも税政連活動の成果に満足せず、税理士法改正等に力を入れていく。さらに多くの国会議員に対し税制及び税理士制度の正しい認識を得るように努めていく。

最後に、武野勝文税理士による高市早苗後援会会長による閉会の挨拶で定期大会を閉会した。
(黒田有紀)

滋賀県支部連

滋賀県支部連合会の定期大会が、9月2日、大津市の滋賀ビルにおいて開催された。

来賓として近畿税理士政治連盟から戸次威佐武前相談役、今中英雄・久保直己両副会長、山下英利元参議院議員秘書が出席した。



鈴木康夫支部連会長

横井昭次副会長の開会宣言のあと、鈴木康夫支部連会長より「昨年の総選挙では、推薦候補が残念な結果となり、7月の参議院議員選挙では、支援してきた元議員の不出馬で、現職の議員後援会がない状況が続いている。ぜひ後援会を立ち上げていただきたい。会費収納について協力をいただいたが、和歌山に続く2位となり、収納率向上になお一層のご協力をお願いします」と挨拶があった。

続いて、議長に連清治会員が選出され、議事に入った。堀井孝一郎幹事長より議案書の詳細な説明があり、1号議案から4号議案のすべて

について、満場一致で承認可決された。

次に戸次近税政前相談役による南出力利近税政会長のメッセージ代読に続き、来賓を代表して、今中副会長より、本部活動の支援に対する謝辞が述べられ、「税政連活動における国会議員後援会活動の重要性を他土業の全国大会に参加して、あらためて強く感じた。滋賀県の会費の高い収納率に感謝している。一層のご協力をよろしく願いしたい」と挨拶があった。

祝電披露の後、久保直己・上野賢一郎後援会会長及び北浜靖朗・山下英利後援会会長より「後援会の今後について、近く役員会を開き決定する」との発表があった。

続いて、山下英利前参議院議員秘書から永年の支援活動について謝辞が述べられた。

最後に、本城善男副会長の閉会の辞をもって、定期大会が終了した。(豊谷晴男)

後援会ニュース

原田憲治後援会定期大会

税理士による原田憲治後援会第3回定期大会が、9月18日、ホテル阪急エキスポパークにお



原田前議員(右)と田中後援会会長

いて開催された。来賓として、原田憲治前衆議院議員、近税政本部より平安式作副会長及び桑野秀朗副幹事長、谷丸八郎松浪ケンタ後援会会長が出席した。

生田哲也後援会副幹事長の司会により開会し、来賓紹介の後、田中啓允後援会会長が「現在の経済の混乱や政局不安には憂慮すべきものがある。我々は国民、納税者、又税理士会の声を国会に反映させるために原田憲治後援会を結成したのであり、原田前議員との意見交換を密にしていきたいと考えている。1日も早く、前議員が国会の場で活躍することを期待し、会員の絶大な支援をお願いする」と力強い挨拶を行った。

続いて、議長に杉山孝一後援会副幹事長が選

出され、直ちに議案審議に入った。議案については川口純司後援会幹事長から説明があり、第1号から第4号の各議案につき慎重に審議が行われ、原案どおり満場一致で可決された。

議事の後、原田前議員から「昨年の衆議院選挙は大変厳しく、結果は私の不徳の致す所であったが、次を目指し鋭意努力中である。今後いつ選挙があるかは不確定だが、ぜひ支援をいただきたい」と挨拶があった。平安副会長からは、「捲土重来を期する原田前議員だが、税政連は税理士制度に理解のある国会議員を支援しているので、今後の当選活躍を大いに期待している」との来賓祝辞があった。小島隆後援会副会長が閉会の挨拶をし、定期大会は終了した。大会の後、報告会において、原田前議員による活動状況や政局、経済情勢についての有意義な話があった。次いで、田中後援会会長より「平成23年度税制に関する要望書」が原田前議員に手渡された。

小椋榮和後援会副会長の開会挨拶に始まる懇親会は、参加者一同歓談し、今中英雄近税政副会長の原田前議員への熱い想いのこもった中締めの後、盛会のうちに散会となった。

(和田秀幸)

山口つよし後援会

税理士による山口つよし後援会 第1回定期大会が9月18日、ホテルサンシャイン青山ガーデンプラザにおいて開催された。

来賓として、山口つよし衆議院議員、近税政本部より井戸本泰次幹事長、兵庫県第4支部連より藤岡保会長が出席した。

三木政司会員の司会で開会を宣言。矢野和英後援会会長が「議員には確申期に3か所の税務相談会場を視察して頂いた。平成23年度の税制改正要望書を山口議員に提出し理解を頂きたいと思っている」と挨拶があった。

次に久野喜作会員が議長に選任され平成21年度事業報告及び収支報告を始めとする議案をす



山口壯衆議院議員

べて承認可決した。

続いて山口議員が、「皆さんの温かいご支援に感謝しています。頂きました要望書を理解し、吸収しようと考えています」と挨拶し、雇用問題、社会保障問題、国家戦略等についての現状の説明のあと、将来のビジョンを述べられた。

この後、来賓の井戸本幹事長が、「久しぶりに夢を語って頂ける国会議員に出会った。山口議員には、平成23年度税制改正要望の実現と税理士法改正についてどうかご尽力を賜りたい。税理士法改正については、日税連で特別委員会が発足し、所管庁との勉強会も予定されており議論が進んでいる。税理士会の考えを是非ともご理解願いたい」と挨拶をした。

そして、藤岡支部連会長の、「議員は国際的な視野から物事を考えることのできる方で、また中小企業者の意見も国会に通してもらえる人だと思っているのでぜひこれからも頑張ってもらいたい」との挨拶の後、水野純夫副会長の挨拶で閉会した。

(後藤加代子)

関よしひろ後援会

10月13日午後5時30分より、神戸市須磨区の魚チにて、税理士による関よしひろ後援会第2回定期大会が開催された。

来賓として、関よしひろ前衆議院議員、井戸本泰次近税政幹事長、竹中征二郎近税政兵庫県第1支部連会長、池田進近税政兵庫県第1支部連幹事長が出席した。

佐々木仁朗幹事長の司会により、開会宣言の後、忝田裕顯会長より、現在の政情について触れながら「関先生には、次回の選挙に向けて、頑張ってもらいたい、われわれも引き続き応援していく」との挨拶があった。

議長に中野裕之副幹事長が選出され、議事に入った。第1号議案から第4号議案まで、全て



関よしひろ前衆議院議員（中央）

原案通り、承認可決された。

次に、来賓の井戸本近税政幹事長より「税政連活動の基本は、後援会活動である。今後も年数回は、勉強会を開催して頂きたい」との挨拶があった。

続いて、関よしひろ前衆議院議員から、現在の活動報告がなされ「皆様の温かい支援に心から感謝する。現在は汗をかいての活動を行っている。次回の選挙に向けて頑張りますので、今後も支援をお願いしたい」との挨拶があった。

最後に吉川嘉彦副会長による閉会の辞の後、定期大会は終了した。

引き続き懇親会が開催され、盛会のうちに終了した。

(吉田智代)

税制改正の仕組みと税政連の対応

昨年の政権交代により、税制改正の仕組みが大幅に変わった。更に菅内閣では、民主党内からの意見を反映するため政策調査会が復活され、陳情方法等も変った。我々にとって重要な事項であるので、現行の税制改正に関わる仕組みと過程並びにこれに対する税政連の対応を会員に発信する。政策決定の内閣一元化を理由に政府税制調査会が実質的に税制改正の決定を行うが、民主党政策調査会が税制改正についての関わり方と税政連の対応などを具体的に説明する。この仕組みはたえず変わることも考えられ、税政連は臨機応変に対応していく。なお、紙面の都合上、本号では全ての記事を取り上げる事が出来ないため、平成23年度税制改正のスケジュール表の記載のみとする、詳細については近畿税政連ホームページの会員専用欄に掲載する。パスワードが必要なため、わからない方は事務局に問い合わせ下さい。

近税政ホームページ <http://kinzeisei.jp/>

ホームページ記事

◎政府

1. 政府税制調査会
2. 同企画委員会
3. 同専門家委員会・小委員会

◎民主党

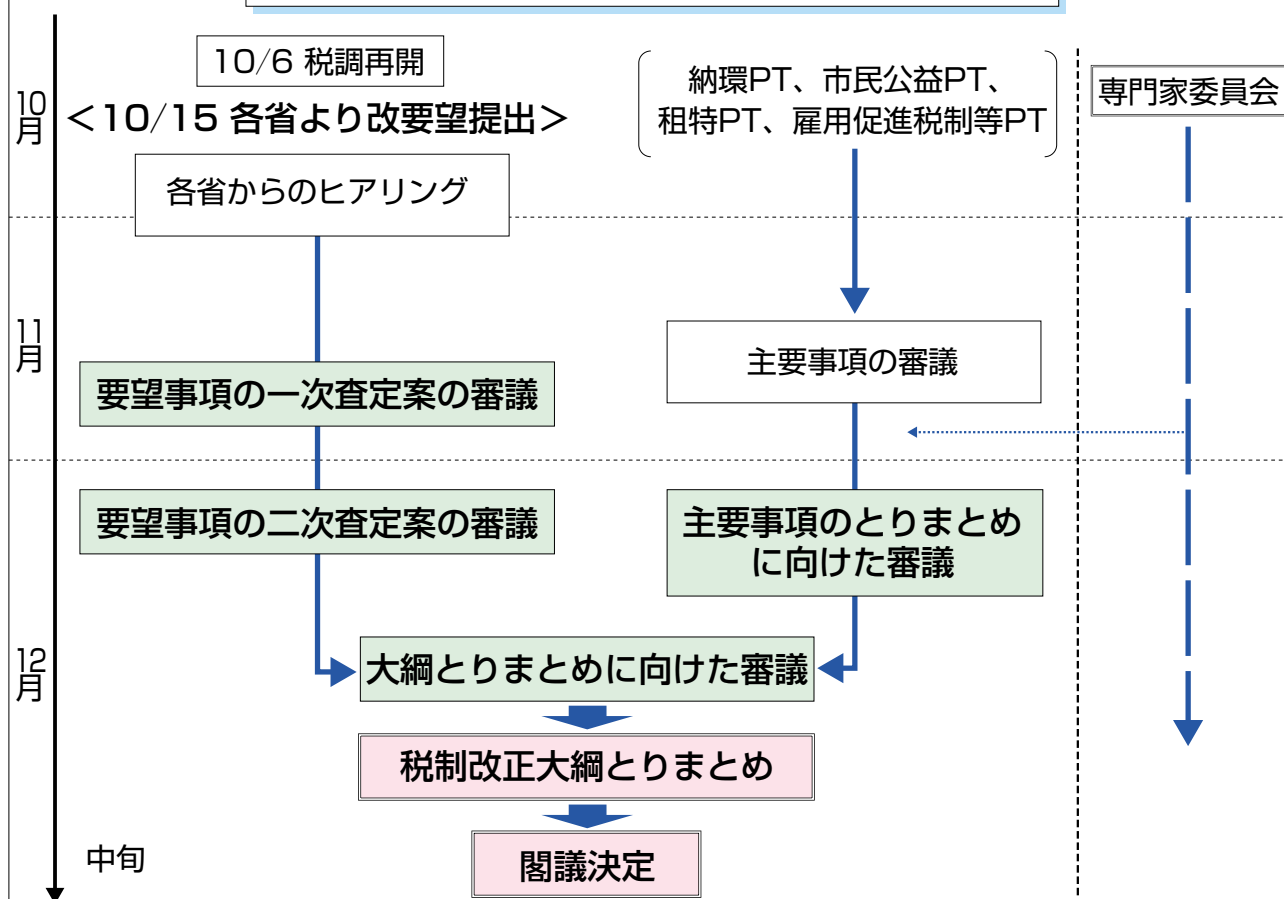
1. 政策調査会
2. 同部門会議・調査会・プロジェクトチーム
3. 民主党税理士制度推進議員連盟
4. マニフェスト企画委員会
5. 陳情対応本部

◎国会議員

◎各省庁

◎税政連の対応

平成23年度税制改正のスケジュール案



夏の思い出

今年の夏は記録すくめの暑さだったが、このところようやく秋めいてきて、夜にもなるとスズムシの鳴き声が聞こえ、なんとなくほっとした気分になれる。そのせいか今頃になって小さい頃の夏のことをふと思い出した。

私の母の郷里は、福井県の小さな半農半漁の村で、集落は15軒しかなかったが、すべての家が民宿をやっていたので、夏ともなれば主に京阪神地区や愛知・岐阜方面からたくさんの海水浴客がおとすれ、集落の人口は3倍くらいにふくれあがる。私は物心がつかない頃から毎年、母に連れられ遊びに行っていたが、小学校高学年にもなると、民宿の手伝いすることを口実に、ほぼ夏休みすべてを母の郷里で過ごしていた。手伝いをするとっても小学生男子ができる事は、ビールなどの飲み物を冷蔵庫に補充したりとか、ゴミを捨てに行ったりとかの簡単なことだけだった。そんな事よりも、叔父や叔母に喜ばれたのは、いとこや近所の小さい子供を集めて夏休みの宿題をさせたり、海や山に遊びに連れて行ったりして面倒をみる事だった。

当時、その集落にたどり着くには、隣の村から2kmほどのほとんど未舗装に近い峠道を越える必要があり、言わば陸の孤島のような場所で、その分、手つかずの自然がそのまま残っていて、なんだか時間がゆっくり流れているような気がした。そんな集落に降って湧いたのが、新型原子炉建設の計画だった。以後、賛成、反対の紆余曲折があり、建設計画が正式に決まってからは、峠道がトンネルになり、昔ながらの漁港は最新の護岸工事が施され、さまざまなインフラがあっという間にそろった。おかげでいろんな面で生活は便利になったが、変わり行く集落の姿に、子供ながらも私としては何とも言えない寂しさを感じた。

(旭支部 川崎哲之)



近税政本部のうごき

日税政第44回定期大会(9月29日)

政策・組織合同委員会(8月9日)

- ・会費収納率の向上策について
- ・会費収納率の低下した組織のあり方について
- ・その他

平成22年度・第3回広報委員会(10月13日)

- ・機関紙第178号の批評
- ・小委員会による検討
- ・機関紙第180号の編集企画に関する件
- ・その他

お詫びと訂正

本誌第178号11面「松浪ケンタ後援会」の文中、「寺本達生幹事長」と表記していますが、正しくは「寺本達生副会長」です。訂正してお詫びいたします。

銀河系

現体制の広報委員会になって1年が過ぎました。

政権が交代し、その後再びねじれ国会となり、税政連の活動も大きく変化し困難を極める中で、少ない人員の知恵と努力を結集して、企画、取材、原稿のチェック、編集の作業を繰り返し広報誌の発行とホームページの更新を行っています。

これらの広報委員会の活動は、政治の状況が変わっても、これまで、またこれからも変わることのないものであると思っています。

それは、税の専門家である我々税理士自らの手によって、顧問先、広くは国民納税者を守るために、また我々の仕事を守るために政治活動を行っている税政連の活動を、より多くの人に知っていただき、広めていかなければならないという使命があるからです。

平成22年の発行は本号を持って最終となります。少し時期は早いですが、1年間のお礼を申し上げるとともに、来年も、広報委員会と「近畿税政連」、そして「近税政ホームページ(<http://kinzeisei.jp/>)」をよろしく願います。

(吉田和之)